

ソラマメ

育苗

散水時に使用



- 根っ酵素液1000倍 →根を強くし、生長を促進。
- 花咲くCa液1000倍 →葉を厚くし、充実させる。
4日間隔で交互に、葉の上からタッブリ散布する。

定植前後の灌水の時に

- 根っ酵素液500倍 →初期の根張り促進、病害軽減。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
地力作り	なるべく早い時期に	<ul style="list-style-type: none"> ●ラクトバチルス600g →フワフワと肥沃で、連作のきく土に。 ●堆厩肥1トン以上 ●硫安60kg (堆厩肥の量とC/N比によって加減) ※通常の複合肥料なら、チッソ成分12~16kg程度。 ※播種(定植)時には無機チッソが効いていない状態(土壌EC: 0.2以下)になるように、早めに投入する事。
整地時	整地時・全面散布 (または地力作りに同時投入)	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の大将<青> 60kg ※酸性に弱いので、土壌pH:6.5くらいになるように、畑の大将<青>の量と投入時期を調節する。 <ul style="list-style-type: none"> ●マンゾク粒状50kg →生長促進、連作障害対策。 ※速く生長させたい場合は10cm程離して硫安20kgを追加。
[10~11月] 播種の場合	播種直後・灌水時	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素500倍液 →初期の根張り促進、病害軽減。
[秋~冬] 初期	葉面散布・灌水	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素500倍液を葉面散布→根・生長の促進。 前半は根の力をつけることが大事。 生長が弱い場合は原液3~10ℓを灌水。(300倍前後) ●アミノ酸液500倍で葉面散布。 (肥切れ時、チッソなど肥料分の補給) ※初期にはあまりチッソが効きすぎないように、葉面散布で調節。 <ul style="list-style-type: none"> ●花咲くCa液500倍を葉面散布 →生育を引締め、病害対策。 ※降霜前に葉面散布しておくこと、霜害・寒害に強くなる。
[2月] 追肥	株元から5cm程離して散布し、土寄せする。	<併用> <ul style="list-style-type: none"> ●硫安20kg~40kg →生育状態によって量を調節。 ●畑の大将<青> 20kg →莢・実の充実・肥大と成熟を促進。
[4月] 摘芯後~ 収穫前	摘芯の直後	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素500倍液を葉面散布 →草勢を莢・実の肥大へ ※チッソ不足なら、アミノ酸液 500倍を混用する。
	その7日後~収穫10日前	<ul style="list-style-type: none"> ●花咲くCa液500倍を葉面散布 →肥大・成熟の促進。 ※2~3回散布すると効果的。(7~14日間隔)

【カルシウムの効果】 花前…一寸系品種でも各莢に3粒ずつの豆が入る。豆の大きさが揃う。
 肥大中…豆が新鮮な薄緑色、ツメも変色せず、鮮度を保つ。莢は黒くならず産毛が多い。薄皮が軟らかい。
 カルシウムが効くと、鮮度が落ちにくく、3~5日は美味しい。
 ただしソラマメは過熟させず、酵素などで草勢を強くしておいて 未熟豆を収穫する。